



あけましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。

最近の外来状況

冬休みに入る前にインフルエンザが流行しはじめました。中高生から始まったインフルエンザAの流行は、小学校低学年まで発症年齢が下がってきました。保育園・幼稚園児は、これから発症が増えるものと思われます。現在ではインフルエンザの勢いが強く、新型コロナウイルスの発症は少ないです。カゼの大半は、咳、鼻水です。ひいて、治って、再び感染するのを当面繰り返します。ウイルス性胃腸炎は、カゼ全体の2割にみられます。嘔吐、下痢、腹痛を認めます。年明けに集団生活が再開された後、再びインフルエンザを中心にカゼが流行すると予想されます。



ココが冷える



腰が冷える

足先が冷える



当帰四逆加呉茱萸生薑湯



※さらに効果を増すために、アコニンサン錠 6錠/2×1を追加 (Max 9錠/3×1) こういう作戦があります。この冬、お試し下さい。

※全身が冷えて困るときは、¹²⁷ 麻黄附子細辛湯 (まおうぶしさいしんとう) を継続する方があります。+アコニンサン錠も可能です。

発熱してこんな症状があったら

①

インフルエンザにかかって発熱しました。夜寝ていたら突然ガバツと起き上がり、壁に向かって何かわけの分からないことをしゃべり始めました。呼びかけても反応がなく怖くなりました。



熱せん妄 といいます。

※一過性の意識障害です。小児では高熱のときに時々みられます。このまま意識が戻らないと、脳炎・脳症を疑い、入院加療となります。高熱に対して脳がうまく対応できないために起こります。

②

急に38℃以上の発熱とともに、両上肢がガクガクして、両眼球が白目をむいて2-3分止まりませんでした。救急車を呼び、救急隊員が自宅に到着する頃には子どもの目が覚めました。



熱性けいれん といいます。

※一生のうち1回だけ起こることが多いです。1回けいれんを起こして、2-3分以内に自然にけいれんが治まることがほとんどです。1回のけいれん時間が長い(10-30分以上)、同日に2回けいれんを繰り返すなどがあれば、入院での治療が必要になることが多いです。将来的に後遺症を残すことはありませんが、発熱なくけいれんするてんかんに移行することが稀にあります。

お知らせ

休診のお知らせ 1月 8日(水), 22日(水) 都合により休診します

岐阜市の漢方外来

1月 11日(土), 25日(水) ※すべて「院外処方」です。
時間: 14:00-17:30 場所: 中島小児科(岐阜市健康東町2-1)